

# 2023 ななさと

なほほど なっとく さあ とりくむぞ！やっぴ伸びる七里っ子！

R6. 2. 7 (水)  
第69号  
文責：校長 川添  
七里小学校

## 七里地区自主防災組織の方と

# 合同炊き出し訓練！



2月17日(土)に予定しています学習発表会終了後に、下記のような内容で、自主防災組織との合同炊き出し訓練を行います。能登半島地震の被災者の方々の避難所生活の様子を報道等で観るたびに、被災支援活動の一つとして行われる災害時炊き出しの重要性を強く感じます。避難所生活で疲弊し切っているだろうと思われる方々が、手作りの温かな食事を手にした瞬間、笑顔を取り戻していました。

今回行うのは、七里小学校が災害発生時に避難所の役割を担ったと想定して屋外調理による炊き出し訓練です。学校としては、総合的な学習の時間に「防災」をテーマに学習を進めている5・6年生を中心に、「炊き出し訓練を通して、災害時に避難所でどう行動すればいいのかが経験するとともに、児童の「自分にもできること」の選択肢を増やす」ことを目的としています。

当日は保護者の皆さんを含めての訓練となりますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

《炊き出しメニュー》※食材の調達状況により一部変更になるかもしれません。

◆豚汁(サツマイモ入り)※希望者にはうどん入り ◆ラップ包みご飯(白ご飯・わかめご飯)

◆味付け海苔 ◆ポンカン

◆鮎の塩焼き(四万十川上流淡水漁協の皆さんが、当日、焼いて振舞ってくださいます。)

★飲み物のみ各自持参！

### 《当日の流れ》

8:55~11:00 学習発表会(自主防さん：豚汁作り、漁協さん：鮎の塩焼き)

11:05~11:30 1~3年生：体育館で、PTA 婦人部によるお楽しみビンゴ  
4年生：鮎の串刺し体験  
5・6年生：炊飯袋を使ってのご飯炊き(屋外)&配膳準備等

11:30~12:30 炊き出し訓練(子ども⇒大人) 食事の準備⇒食事⇒片付け  
低学年の児童から順に、各コーナーに並んで自分が食べる分を配膳台から取って、体育館で場所を見つけて食事 (水筒は各自持参)

12:30~12:45 4~6年生：体育館で、PTA 婦人部によるお楽しみビンゴ  
児童は担任の指示で随時下校 自主防さん&級外教職員で片付け

13:00~ 学級懇談会

《お願い》11:05~11:30の時間帯に、七里小地域学校協働本部の学習支援部の甲把麻由子さんと河野尚美さんが中心となって、ラップ包みご飯(2升5合分)を作ってくださいます。あと2~3名程度の応援をいただくと助かります。PTA 婦人部以外の方で、「お手伝いできますよ」という方は、学校(窓口：川添)までご一報ください。よろしくお願ひいたします。

○炊き出し訓練には、学習発表会をご参観くださる**ご家族の皆さんで参加OKです。**

ただし、災害時を想定しての訓練ですから、多少の不便はあると思います。ご了承ください。また、今回は予算等の関係で**飲み物は準備できませんので、各自で**お願いいたします。

○体育館に出ているパイプ椅子等は、ご自由にご利用ください。(ただし、ご高齢の方や妊婦さん等優先で！)

○今回は、日頃本校の教育活動に多大なるご支援をくださっている「運営協議会」や「地域学校協働本部」「民生児童委員」の皆さん方もご案内しています。

○この日は授業日ですが、**お弁当の用意は必要ありません。**

○訓練終了後、**今年度最後の学級懇談会**を予定しています。

○車でご来校される場合は、運動場にご駐車ください。(雨天の場合は、トラック内を避け端の方をお願いします。)

## 学習発表会プログラム

時間(予定)	学年	内 容	
9:00~9:20	4年	ミュージカル	めざせ水生マスター~やっこと5人の仲間たち~
9:20~9:40	1年	劇	したきりすずめ
9:40~10:00	2年	劇	2年生になって できるようになったこと
10:10~10:30	3年	劇	みんなで守ろう 自然の生態系
10:30~10:50	5・6年	発表・劇	地震から命を守る備えをしよう

「読もっか」に掲載されたよ

一月六日付



### 大谷選手のグローブ

全校で大喜び

★四万十町・七里小★

金曜日に体育集会がありました。体育館に行ってみると、机の上に新聞紙をかぶせた段ボール箱がありました。何が入っているのかなと思いました。

みんなが考えているときに、ぼくは、もしかして大谷選手のグローブ

かなと思いました。予想通り、箱に入っていたのは、大谷選手のグローブでした。

ぼくも全校のみんなもおどろき、すごい声で「大谷選手のグローブや！」と喜びました。ぼくは、休み時間に使いたいなと思いました。

今日は、大谷選手のグローブが届いて、最高にうれしかったです。

(4年、藤田碧音記者)

雨の日の休み時間になると、「大谷選手のグローブを貸してください。」という子どもたちの声をよく耳にします。このグローブが届いたことで、今まで「野球」に興味がなかったという子どももキャッチボールを楽しんだり、グローブをはめてみたりしています。

いろいろな出会いが、子どもたちの夢や可能性を広げてくれます。大谷選手のグローブは、「がんばり続けたら、自分にも何かできそう！」という明るい希望を抱かせてくれます。碧音さんが書いているように、「最高にうれしかった」出会いですね。